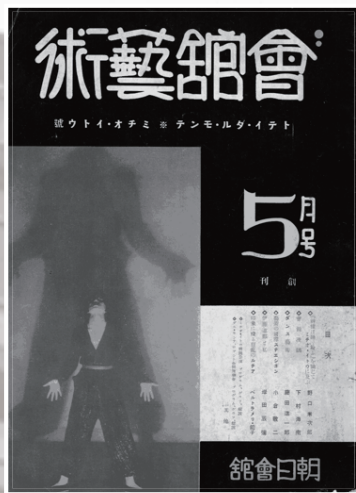




1



2



3

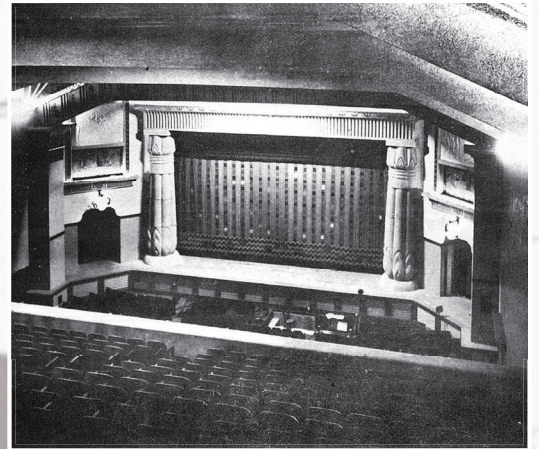


4

大阪朝日会館——1926年から62年まで中之島に存在したこの文化施設は、映画会、音楽会、演劇公演、展覧会などの催しや、雑誌『會館藝術』の発行を通して、関西のモダニズム運動を牽引する役割を果たしました。この「會館」文化の戦前から戦後にかけての変遷と、その近代文化史における位置づけをさまざまな角度から検証するため、シンポジウムと展覧会を開催します。



5



6

展覧会関連企画

○トークイベント：

都市と会館—昭和初期「近代大阪」における大阪朝日会館

日時：2015年3月9日（月）18時～20時

会場：東京大学駒場Ⅰキャンパス学際交流ホール（アドミニストレーション棟3階）

出演：橋爪紳也（大阪府立大学特別教授）、岡野宏、中村仁（司会）

○映画上映＋研究発表＋講演会：

日時：2015年3月21日（土・祝）14時～17時

会場：東京大学駒場Ⅰキャンパス学際交流ホール（アドミニストレーション棟3階）

「會館」文化と宣伝映画『朝日は輝く』（1929）

・映画上映『朝日は輝く』（監督：溝口健二／伊奈精一、サイレント、25分）

東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

・研究発表：白井史人「朝日会館・『會館藝術』における映画と音楽」

・講演：木下千花（首都大学東京准教授）「映画『朝日は輝く』と溝口健二のモダニズム」

司会：紙屋牧子

○宣伝映画『朝日は輝く』上映＋ギャラリートーク

日時：2015年4月3日（金）14時～

会場：東京大学駒場Ⅰキャンパス駒場博物館1階セミナー室

ギャラリートークは14時45分（予定）から、駒場博物館にて行います。

各イベントの最新情報については、研究会および博物館のホームページでご確認ください。

協力：神戸映画資料館／東京国立近代美術館フィルムセンター（50音順）

図版解説

チラシ表、裏面背景：1951年5月頃（推定）の大阪・中之島の風景。垂れ幕のある黒い建物が大阪朝日会館。

Skillman Library, Lafayette College.

<http://digital.lafayette.edu/collections/eastasia/warner-slides-japan/js0019>（表）

<http://digital.lafayette.edu/collections/eastasia/warner-slides-japan/js0035>（裏面背景）

1～4：『會館藝術』表紙。創刊号(1)は1931年5月1日発行、「トテイ・ダル・モンテ※ミチオ・イトウ號」の記載あり。第7巻第9号(2)は1938年9月1日発行、表紙絵は田村孝之介。田村は長年にわたりこの雑誌の表紙を担当した。第9巻第1号(3)は1940年1月1日発行、表紙絵は小磯良平。第9巻第4号(4)は1940年4月1日発行、表紙絵は田村孝之介。この年は第2号以降第12号まで、大阪朝日会館を描いたこの表紙絵が使用された。いずれも豊田善敬氏所蔵。

5～6：完成当時の朝日会館の外観(5)と公演場舞台(6)。5では、周辺の建物は加工により消去されている。日本建築協会「建築と社会」第9輯第11号(1926年11月)より。

シンポジウム・展覧会場案内

153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学駒場Ⅰキャンパス

京王井の頭線「駒場東大前」駅下車、「東大口」より徒歩すぐ



学際交流ホールへは、アドミニストレーション棟1階より、ホール専用エレベーターで3階までお越しく下さい。その他のエレベーターはホール入口に停まりません。